

2016年12月5日

「バージニア アッシュバーン 3 (VA3) データセンター」を建設開始

NTT コミュニケーションズ (以下 NTT Com) は、米国においてデータセンター関連サービスを提供するグループ会社 RagingWire Data Centers (以下 RagingWire 社)を通じて、約 164 億円を投じ、「バージニア アッシュバーン 3 (VA3) データセンター」の建設を開始します。

米国でもトップクラスのデータセンターが集結した東海岸バージニア州アッシュバーンに取得済の約 31 万 m²の敷地において、第 1 棟目のデータセンターとして、サーバールーム面積約 10,400 m² (4,500 ラック相当) の本データセンターを、2017 年 12 月より、順次提供開始予定です。

「バージニア アッシュバーン 3 (VA3) データセンター」と今後の拡張イメージ



1. 背景

活発な ICT 産業や企業のクラウド利用など、ICT 環境のアウトソース拡大を背景に、全世界におけるデータセンター市場の 50%以上を占める米国では、年間約 12%の市場成長が続いています。

NTT Com は、米国において 11 拠点のデータセンターを提供中であり、RagingWire 社は、そのうち東海岸のバージニア州アッシュバーンに 2 拠点、西海岸のカリフォルニア州サクラメントに 3 拠点のデータセンターを展開しています。

さらに、2017 年 6 月の提供開始に向けて、中西部に「テキサス ダラス 1 (TX1) データセンター」(第 1 棟サーバールーム面積約 11,400m²)を建設中ですが、今回、東海岸におけるお客さまの需要に継続的に応えるため、アッシュバーンに新たな「バージニア アッシュバーン 3 (VA3) データセンター」の建設を開始します。これにより、米国において NTT Com が提供するサーバールーム総面積は約 74,700 m²に拡大します。

(別紙 1) 米国のデータセンター拠点とサーバールーム面積

2. 概要・特長

バージニア州北部は、高信頼かつ低価格な電力、州の税制優遇、ハイウェイや空港などの充実した社会基盤、豊富なネットワーク接続環境がそろっており、米国でもトップクラスのデータセンターが集結しているエリアです。ワシントン・ダレス国際空港から車で約 10 分の利便性の高い立地にあり、総電力供給容量 16MW を誇る、地上 2 階建てのデータセンター専用ビルにて、「Nexcenter™」※1ブランドの下、コロケーションサービスを提供します。

(1) 充実した機能と柔軟性

本データセンターは、「Nexcenter™」が定める 300 項目以上のグローバル統一設備・運用基準に準拠し、電力・空調・通信設備の冗長化に加え、テロにも強い強固なセキュリティを提供します。

電力供給設備の冗長構成は、RagingWire 社が特許取得済の 2N+2™アーキテクチャをさらに進化させ、お客様のシステムや予算に合わせて、N+1、2N 構成など、さまざまなオプションを提供します。必要なスペースや電力は、お客様のシステム拡張に柔軟に対応して、モジュラー化されたスペース単位でタイムリーに提供されます。

また、ネットワークは、3 ルートで引き込まれたファイバーにより、他のデータセンターやクラウド事業者へつなぐ、キャリアニュートラルなネットワーク接続サービスが利用できます。このように充実した機能と柔軟性を提供する本データセンターは、ミッションクリティカルな金融機関、IT・テクノロジー企業、通信事業者などのお客さまに最適です。

(2) 効率的なデータセンター設備の設計・運用により低コスト/グリーン化を推進

RagingWire 社は、電気設備、空調設備や通信設備などの構築・運用を自社で対応可能なライセンスを保有し、専門の主任技術者を多数擁していることから、より高品質な設備を低コストでお客様に提供することが可能です。

空調機は、最新のモジュラータイプの機種を採用し、さらに間接外気冷房システムの導入により、データセンターの電力使用効率指標 PUE※2=1.24 という高水準な省エネを実現します。また、空冷式空調システムの採用により、従来の大規模な水冷式空調システムでは難しかった、お客様のシステム拡張に合わせた柔軟かつ迅速な拡張が可能です。加えて、米国環境保護庁 (EPA) が定める「ENERGY STAR」認定を受けた設備の採用などにより、低コスト運用を実現するとともに、米国グリーンビルディング協議会による「LEED」認証に対応した環境に配慮したデータセンターを提供します。

(3) 各種認証に準拠した安全かつ柔軟な運用サービス

本データセンターは、クレジットカード業界のグローバルセキュリティ基準である「PCI DSS」、米国連邦情報セキュリティマネジメント法に基づく情報保護ガイドライン「FISMA」や米国医療情報保護ガイドライン「HIPAA」に準拠するほか、「SSAE16/ISAE3402」による内部統制に関する有効性証明書を取得予定です。またオンサイトスタッフによる各種マネージドサービスやリモートハンドサービスなど、安全かつ柔軟な運用サービスを提供します。敷地内には、BCP オフィスとして利用が可能なレンタルオフィスのほか、会議室、各種アメニティ施設も備えます。

※1：NTT Comのデータセンターサービスブランド。世界140拠点以上で、グローバルXノンストップ・データセンターサービスを提供しています。

※2：PUE（Power Usage Effectiveness）は、データセンターの電力使用効率を表す指標で、データセンター全体の消費電力をICT機器の消費電力で割ったもの。数値が1に近いほど省エネ効率性能が高い。

（参考）RagingWire社について

RagingWire社（本社：米国 カリフォルニア州サクラメント CEO：George Macricostas）は現在従業員約300名以上を擁し、2000年の会社設立以降16年にわたり、米国でデータセンターサービスを提供する、米国における業界のリーダーです。Polycom社やNVIDIA社などICT企業を中心に約200社以上に対する高品質サービスの提供実績があります。

